

令和元年度(平成31年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南信州の人形劇・獅子舞・サブカルチャーの複合芸能文化「南信州天昇オロチ」による南信州地域の文化振興
事業主体 (連絡先)	南信州複合芸能文化の会 事務局(0265-43-43)
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,409,000 円

事業内容

■イベントでの演舞

- ・いいだ人形劇フェスタ(8月3日)
新しく制作した人形劇オロチ(獅子舞2つと獅子舞幌)を初披露。
(出演者約30名・観客約100名)
- ・南信州獅子舞フェスティバル(10月20日)
創作獅子舞の子どもたちと橋北屋台囃子保存会の皆さんとの
合同演舞を5回行なった。(参加者約80名・観客約600名)
- ・飯田丘のまちフェスティバル(11月3日)
飯田下伊那地域のキッズダンスチームに参加を呼びかけ、劇中
歌みまくり節に合わせて20名のダンサーが新しいダンスを披露。
(参加者約50名 観客数約200名)

■保育園・小学校などの教育施設での演舞

- ・豊丘村3園の保育園の合同夏祭り(7月12日)
3園の保育園の先生方にも演者として出演してもらい会場を盛
り上げていただいた。最後は参加者全員とみまくり節(劇中歌)
で盆踊りを行なった。(参加者65名 観客数約600人)
- ・阿智第二小学校での学校オロチ公演(11月8日)
小学校の人権教育月間の取組みに合わせて、「互いに許し合う
心の大切さ」をテーマとした、学校版の南信州天昇オロチの
演舞を行なった。(参加者15名 観客数約80名)
- ・伊賀良保育園での学校オロチ公演(2月7日)
「お互いの違いを認めて許し合う心」をテーマとした、保育園
版の南信州天昇オロチを行なった。

事業効果

- ①県内外の方々が集まるイベントなどにも参加することができ、南信州の
魅力を発信することができた。
- ②南信州の保育園4園と小学校1校での公演を行なうことができた。巡回公
演1年目という事もあり回ることでできた教育施設は少なかったが、来年度
の活動に向けてのいい経験となった。
- ③イベントや巡回公演で南信州天昇オロチの演舞を観た方が、オロチ舞の
メンバーに入ってくれたり、地元のダンスチームの方々が一緒に踊ってくれ
たりすることで、若年層の演者を中心にメンバーの増員をすることができた。
- ④南信州天昇オロチの演舞構成が様々な南信州の芸能が複合的に網羅
されている内容のため、演舞全体のエンターティメント性としては楽しんで
もらっているが、ひとつひとつの芸能の紹介には、演舞の内容を説明でき
るようなガイドブックが必要だと思われる。
- ⑤十分な集客ができた。

今後の取り組み

- 多くなってきたオロチ舞のメンバーが練習できる環境を整えると共に、幅広い年代層のメンバーが意欲的に取り
組めるような舞台構成を行ない、定期的な練習を続けていきたい。
- 南信州天昇オロチの内容が小さい子供にもわかるようなガイドブックを作成し、これまで以上に南信州の芸能の
魅力を伝える工夫を行なっていく。
- 巡回公演数を増やし、多くの子どもたちを対象に南信州天昇オロチ公演を通して地域芸能の魅力を伝えていく。
- いいだ人形劇フェスタ・獅子舞フェスティバル・丘のまちフェスティバルには今後も参加していく。



【阿智第二小学校・学校オロチ】

【目標・ねらい】

- ①南信州地域の伝統芸能の魅力を
広く県内外に発信する
- ②保育園や小学校を対象とした巡
回公演を行ない、次世代を担う子
どもたちに南信州の伝統芸能の
魅力を伝える
- ③南信州天昇オロチの演者を増や
し、南信州地域の芸能継承者を
育成する
- ④南信州天昇オロチの表現方法を
工夫し、観客が観て南信州に伝
わる様々な芸能の魅力が分かり
やすく伝わる内容とする
- ⑤各イベントの観客数を増やす

※自己評価【 B 】

【理由】

イベントや教育施設での演舞を通
して多くの観客に複合芸能文化を
発信することができた。ともに活動
するメンバーも増えつつあるので、
今後もより効果的に地域の伝統芸
能の魅力を伝えられるよう取り組
んでいきたい。